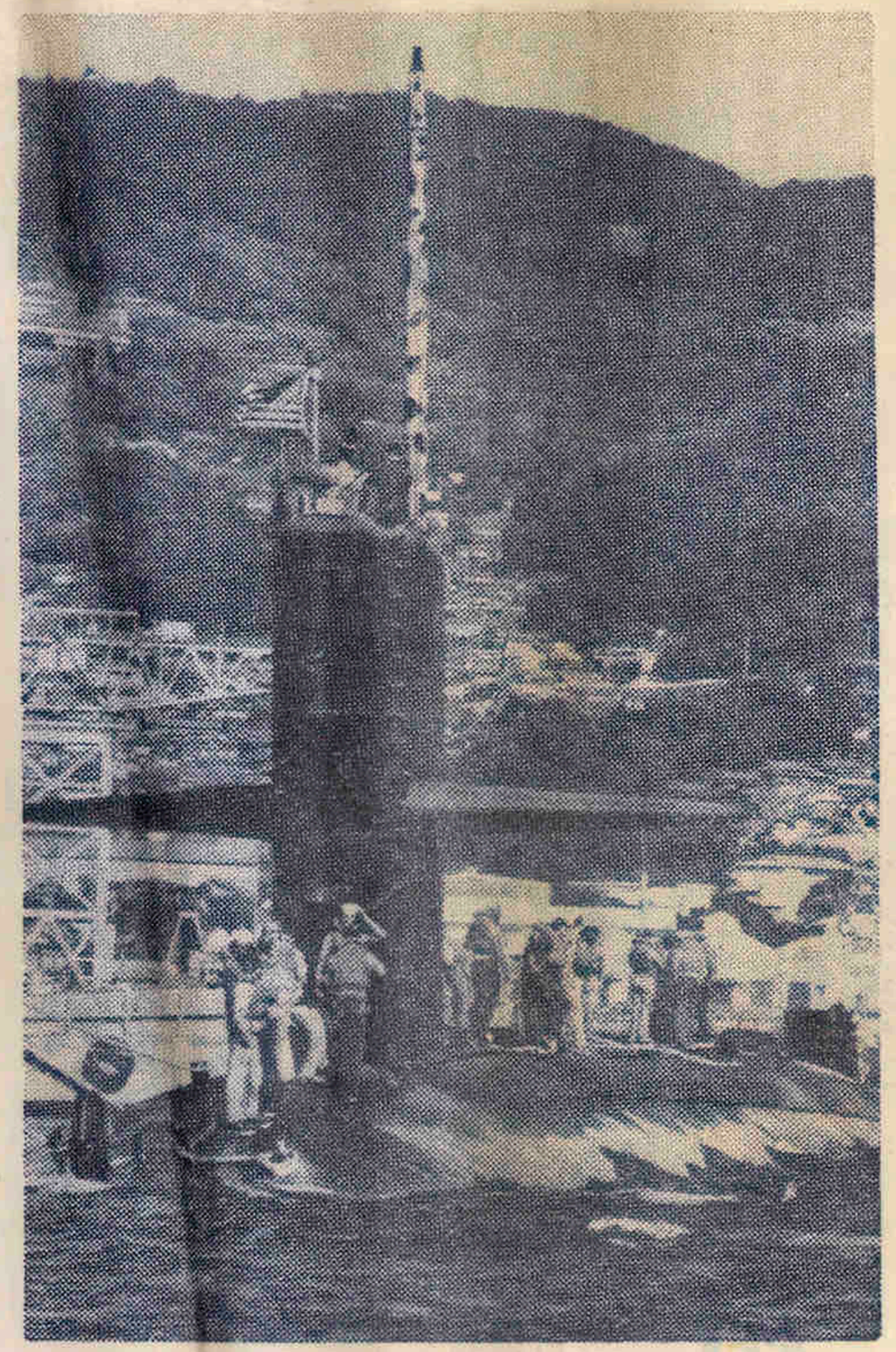
大正14年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日国鉄特別扱承認新聞紙第3号



# 原潜9年ぶり入港

## 佐世保 革新陣営は抗議集会



9年ぶりに佐世保に入港した米原潜ウイリアム・H・ベイツ　—8日午前10時20分、佐世保港で

米原子力潜水艦スタージョン級のウイリアム・H・ベイツ（L・J・アップリンガー艦長ら百二十人乗り組み、三、六四〇トン）が八日午前十一時、佐世保に入港、米海軍佐世保基地沖のA ブイ海域に停泊した。原潜の佐世保入港は四十八年六月のドラム以来九年ぶり、初寄港となった三十九年のシードラゴン以来十九隻目。革新団体の入港阻止行動もなく平穏だった。

入港目的は乗組員の休養と物資などの補給とされているが、革新団体側は「基地増強の布石」と見て反発、安保破棄諸要求貫徹佐世保地区実行委員会が佐世保市に抗議したのに続いて、社会党佐世保総支部と地区労が午後五時半から約三百人が参加して抗議集会を開いた。

ベトナム戦後途絶えていた米原船の佐世保寄港が再開されたことについて、地元革新陣営では「米海軍の極東における対ソ戦略の強化で、佐世保基地の増強につながる」としているが、事実、米艦船の佐世保寄港はこのところ目立って増えている。ベトナム戦後は年間三十―七十隻にとどまっていたが、五十五年には二百八十八隻、五十六年が百七十三隻にのぼり、今年も八日現在で、すでに五十六年と同数になった。

今年八月に訪れたW・クラーク・ジュニア連艦隊は、日本海きかす重要も活用し重要性を

なお、射能の異常た」と発表は、原潜出れる。

ワインバーガー長官は、このほど訪米した伊藤防衛庁長官が同長官と会見した際、米空軍のF16戦闘機の三沢基地（青森県）配備を約束したことにふれ、「基地周辺の住民の動向はどうか」など、と深い関心を示していた。このF16配備については、日本の北方空域でソ連機の活動が活発化していることをあげ、「日本の空域の侵犯」との表現を使い、F16配備はこうした動きに対抗するための措置であると説明した。

わが国の防衛力増強については、「防衛計画の大綱」を策定した当時と比べ、国際情勢が激化していることを指摘、「大綱」の見直しの必要性を示唆した。日本の防衛能力の具体的な内容は十分知っている」などと述べ、新五カ年計画の概要がまとまる年末にも、財政再建の二つの目標である「五十九年度赤字国債脱却」と「増税なき財政再建」を変更する考えを公式に表明した。

# 財政再建 見直しへ

## 蔵相表明

渡辺蔵相は八日午前の経済対策閣僚会議で、「新しい経済五カ年計画ができたら、財政再建の見通しも仕切り直ししたい」と述べ、新五カ年計画の概要がまとまる年末にも、財政再建の二つの目標である「五十九年度赤字国債脱却」と「増税なき財政再建」を変更する考えを公式に表明した。

# 景気対策を決定 閣僚会議

総額二兆円強の公共投資などを追加することによって、回復のはかばかしくない景気にテコ入れしようという「総合経済対策」が、八日午前の経済対策閣僚会議で正式に決まった。今年度の経済成長率見通しを「名目で六・二%程度、実質で三・四%程度」へ、当初の「八・四%と五・二%」から下方修正することも、合わせて了承された。財政支出を追加する景気対策が取られるのは、五十三年秋以来四年ぶりのこと。この対策決定を受けて大蔵省は今年度補正予算案の詰めを急ぎ、今月下旬には閣議決定したい考えだ。

（6面に関係記事）

「総合経済対策」はまず前文で、停滞色の濃い経済情勢とともに厳しい財政の状況を特に記し、今度の対策に大蔵省の考えが強く反映されたことを示している。

経済見通しの改定によって成長率は大きく下方修正されたが、これは昨年度後半の成長が鈍化し、今年度の〝発射台〟が低くなったのに伴うもの。今度の対策が着実に実施されれば、物価が二%程度（当初見通しは三・〇%）、消費者物価が三%程度（同四・七%）と改定された。

具体的な対策を記した中で注目されるのは第一の柱で、公共投資について「総額二兆円強の事業規模の追加」を明示した点。災害復旧事業が七千五百億円、一般公共事業が債務負担の四千億円と財政投融資の千二百億円、地方単独事業の追加分が五千億円、住宅が三千億円―を合計したもので、水増しの要素も含めて具体的な金額を示した点に、対策会議の座長である河本経企庁長官の意図が見える。これによる今年度の成長率押し上げ効果は〇・七%前後と経企庁はみている。

# 電気2月末まで再開

東半分は被害すくに稼働半分の機



相互銀行（現島支店長、年2月から締役会で、まで空席が

～～～

市川 慶